

第2学年 学年末テスト範囲表

1：時 程

(1日目)

	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時
教 科	数学	保体	美術	社会	音楽	

(2日目)

	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時
教 科	国語	技家(技術)	理科	英語	

2：テスト範囲(1日目)

教科	出題範囲・内容	学習のポイント どのような内容をどのように学習すればよいか
数学	○教科書 ～P131まで ○数学の友 ～P61まで ○色つきプリント ～⑩まで	○授業で学習した証明の問題を繰り返して行うこと。 ○以前学習した計算問題も出題しますので、よく復習をしておく必要があります。言葉を書く問題もありますので、一字一句間違えないように覚えること。 ○分からないところがあれば前もって聞くこと。直前ではなかなか理解できません。
保体(男女共通)	体育 柔道 バドミントン 卓球 保健 健康と環境 P45～54	○実技の教科書、資料集等をよく読んでおくこと ○教科書を中心に勉強すること
美術	○一学期、二学期の復習内容 ○金屏風制作について ○墨が生み出す豊かな世界 p22～23 ○漫画表現の豊かさ p32～33	○これまでのテストを復習すること(金屏風名や浮世絵についての問題を再度出題) ○金屏風制作において、用具の名前や技法名、塗る順番など確認する問題を出題します。 ○教科書でアンダーラインをひいたところはしっかりと覚えること。
社会	[地理] 教科書 P224～264 ・ 関東地方 ・ 東北地方 ・ 北海道地方 ※ ワーク P46～61 ※ カラープリント ⑦ ⑧ ⑨ [歴史] 教科書 P144～159 ・ 欧米の進出と日本の開国 ※ ワーク P26～37	・ 教科書をしっかり読み、理解できない所は友達や先生に質問し、分かるようにしておく。 ・ 太字の意味を説明できるようにしておく ・ ワークやカラープリントを3回以上くり返し解く ・ 資料の読みとりに慣れる ・ 文章で答える問題にしっかり取り組む(模範解答の表現を参考に)
音楽	・ 交響曲第5番八短調作品67 ・ 歌舞伎「勸進帳」 ・ 校歌	・ 「交響曲第5番」…学習帳にまとめた内容と教科書の内容を復習してください。 ・ 「勸進帳」…授業で配付したプリントから出題します。 ・ 「校歌」…いつもの32点分です。

3：テスト範囲（2日目）

教科	出題範囲・内容	学習のポイント どのような内容をどのように学習すればよいか
国語	P125～129 「敬語」・「同じ訓・同じ音」 P142～145 「仁和寺にある法師」・「徒然草」について P146～151 「漢詩の風景」 P152～163 「君は最後の晩餐を知っているか」 ○文法の学習「用言の活用」	○漢字のワークを完璧に書けるようにする。 ○国語のワークはテスト範囲をしっかりと復習。 ○徒然草についての文学史 ○古文を現代文に訳せるように ○漢文の基礎を覚える。 ○漢詩の内容を覚える。 ○敬語の使い方を覚える。 ○動詞の活用の種類と活用形を覚える。 等々しっかりと学習すること。
技術	1 コンピュータの基礎知識 2 エクセルについて 3 組立・塗装 P68～P73 4 オルゴール製作 P116～P117 図面の見方、工具の名称等	1 キーの名称・働き、情報通信ネットワーク等 2 エクセルの使い方等 3 使用工具の名称や使い方等 4 使用工具の名称や使い方、寸法、製図記号等 回転運動を伝えるしくみ ※授業で使用したプリントを中心に学習する。 ※どうして、そうなるかを常に疑問を持って授業に臨みましょう。
理科	○ 教科書 p.174～210 ・前線とその周りの天気の変化 ・大気の動きと日本の天気 ○ 教科書 p.212～243 ・静電気と電流 ・電流の性質 ○ ワーク p.72～101 ○ パラプリント 14 15 16 17	・前線の種類や、通過時の気象の特徴を押さえる。 ・日本の季節や季節風の特徴・仕組みを理解しておく。 ・直列回路・並列回路の作り方、回路図の書き方をおさらいする。 ・電流計、電圧計の使い方を完璧に！直列回路、並列回路での電流の強さや、電圧のはたらきかたの規則性を理解し、値を求められるようにする。 ・オームの法則について理解し、グラフを書いたり、抵抗値を計算によって求めたりできるようにする。
英語	○ Unit5(教科書 P68-75) ○ Daily Scene 5 (教科書 P78-79) ○ Unit6(教科書 P80-87) ○ Daily Scene 6 (教科書 P90-91) ○ Presentation 2 (教科書 P92-93) ○ Let's Read 2 (教科書 P96-99) ○ スヌービー (P74-109) ○ 長文問題 ○ リスニング問題	・スヌービーを何度も復習する。 ・範囲内の単語、語句のスペル、意味を正しく書けるようにする。 ● Unit5の接続詞、Unit6の"there is", "there are"の文、動名詞(-ing)を中心に出题します。スヌービーの右のページや表現問題の文を理解し書けるようにしておく。